

## 序 文

古来より人や物資の交流の基盤となってきた「道」は、我が国の文化や歴史を理解する上で極めて重要な意味をもつ生きた文化財であります。しかし、こうした歴史的・文化的に重要な由緒ある「道」も、現在では社会生活の発展とともにその道筋を変え、今では人々の記憶からも消えようとしています。

下野街道は、会津藩が隣国へ通ずるとした五街道の中の一筋で、現在の福島県会津若松市から栃木県今市市までの宿場数十七、総延長約三十里の街道でした。この街道も交通体系の変化から明治十七年には会津三方道路と呼ばれる現在の国道が開通し、山間部を通る峠越えの道は人も入らない藪化した荒れた道となりました。

今回、文化庁のご指導により下野街道の復元整備ができましたことは、歴史に思いを馳せながら古道を歩いてみたいと願う現代に生きる私達の喜びであるとともに、旧街道の歴史的価値の保存と継承に繋がったものだと思っております。

最後に、本事業が完了するにあたり、専門的な立場からご指導賜りました文化庁、福島県教育委員会その他の関係機関の皆さまに対し深甚なる謝意を表します。また、ご協力をいただきました旧街道沿いの各行政区の皆様にも厚くお礼を申しあげます。

平成十二年三月

下郷町長 櫻 木 左久雄